

新

年



新年のごあいさつ

輝く未来への飛躍を目指して

鴻巣市長 原口 和久

明けましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より、市政の推進にあたりまして、格別のご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態の中、本市では、国の緊急経済対策である特別定額給付金をいち早く給付したのをはじめ、売り上げが減少した事業者やテイクアウト等を実施した飲食店等への支援、水道料金の基本料金の計4か月分免除、このすぐるメ応援隊クーポン券やプレミアム付商品券の発行、のすっ子応援商品券や祝敬老寿商品券の配付、新生児定額給付金や医療機関応援金の支給、このすシネマでのワンコイン映画鑑賞、全ての世代に対するインフルエンザ予防接種費用の助成、65歳以上の方及び基礎疾患のある方で希望者へのPCR検査費用の助成など、市民生活や地域経済を守るため、様々な市独自の支援策を切れ目なく実施してまいりました。

また、新しい生活様式の指針となる「このす安心宣言」を定め、市が主催する行事や管理する施設において、3つの密の回避、マスクの着用や手洗いなどの徹底、定期的な換気や消毒液の設置など、

感染拡大の防止に努めております。一方で、鴻巣市、吹上町、川里町の合併から15周年を迎えた本市が、さらなる飛躍を遂げるための各種事業にも積極的に取り組んでまいりました。2月に「北新宿生涯学習センター・児童センター」がオープンしたのをはじめ、3月には「鴻巣宿おおとり公園」が完成し、長年にわたり進めてきた鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業が完了しました。

また、4月にはデマンド交通「ひなちゃんタクシー」の本運行に加えて、「(仮称)このす乗合タクシー」の実証運行を開始するとともに、こども医療費の無料化を病院についても18歳の年度末まで拡大いたしました。このほか、屈巢小学校家庭及び登戸保育所園庭の芝生化、パートナーシップ宣誓制度の開始など、持続可能なまちづくりに向けて着実な進捗を図ることができました。

さらに、昨年末には、コロナ禍においても、本市の地域資源である「花」と「緑」を守り育てながら、市民協働によるまちづくりを推進するため、「花と緑の都市」を宣言し、今後、「花」と「緑」を生かしたまちづくりを加速してまいります。

そして、合併15周年の節目を迎えた今、改めて市民の皆さんの心

をひとつにし、輝く未来への飛躍を遂げるため、合併を機に定めたシンボルマークを、本年4月から新たな市章として制定するとともに、4月には新中学校給食センターが稼働開始、この秋には、3月に完成するコウノトリ飼育施設において飼育を開始する予定です。

また、本市の未来を担う子どもたちのため、全国に先駆けた全小・中学校のICT基盤の刷新や児童生徒1人1台のパソコンの整備、大規模災害に対応するための防災備蓄センターや防災行政無線の整備に着手しております。

このほか、これまで重点事業として推進してきた、新ごみ処理施設、道の駅、箕田地区産業団地、三谷橋大間線(2期工事)、上尾道路II期区間の整備に向けた取組等についても、着実に進めてまいります。

今後引き続き、感染症対策等をしつかりと行いながら、市民の皆さんに「住んでよかった、ずっと住み続けたい」と感じていただける、魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで幸せな年となることを心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

令和2年の主な出来事



このす乗合タクシー実証運行を開始(4月)



「鴻巣宿おおとり公園」がオープンし、鴻巣駅東口整備が完了(3月)



北新宿生涯学習センター・児童センターが完成(2月)



謹賀

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、昨年中は市議会の活動に対して、温かいご理解とご支援を賜り、市議会を代表して、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、感染拡大防止とその影響への対策に追われる1年となりました。市内においても、毎日のように感染者が増えており、大変憂慮しているところですが、

市では様々な感染症対策を行っています。その原資となる新型コロナウイルス感染症対策基金に充当することを中心とした、議会議費の減額を行っています。昨年の6月定例会では、4常任委員会・議会運営委員会の視察研修に係る経費を減額し、9月定例会では、政務活動費を年度途中においても返還できる規定の条例改正を行い、多くの会派から一部返還されています。12月定例会では、議員報酬の月額10%を本年1月から3月までの3か月間、減額することを決定しました。これは、本市が実施して



新年のごあいさつ

誰一人取り残さない、明日へ

鴻巣市議会議長 金子雄一

る感染症拡大防止対策、市民生活の支援、地域経済対策等に役立てていただくことで、少しでも市民の皆様へ寄り添うことができればとの思いから行ったものです。

また、市議会では活発な議論が展開されています。12月定例会では、笠原小学校を廃校にする条例の一部改正（案）とそれに反対する請願が4,400人以上の賛同者署名簿を添付し提出されました。様々な立場での様々な思いがあり、本会議、常任委員会において、激論が交わされました。結果は、廃校とすることが決定されましたが、これは、学校の主役である子どもたちの将来を第一に考えるの選択であったと思います。

さて、いよいよ本年は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピック開催の年となります。昨年就任した菅首相は「人類がウイルスに打ち勝った証として、東日本大震災からの復興を世界に発信する『復興五輪・パラリンピック』として実現する決意である」とことを表明しています。世界中が沸き立つような感動に包まれ、大いに盛り上がることを期待しています。また、その効果により、経済、スポーツ、文化等において日

本中が活性化することを願っています。

近年、SDGsという言葉が耳にするようになりました。これは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、「世界が今以上によくなるために、2030年までに世界の全員で協力して解決したい目標」と言われています。17の目標と169のターゲットがありますが、その基本理念は「誰も置き去りにしない」世界を目指しており、私としても、大変注目しているところです。

市議会は、市民の皆様から様々なご意見を拝聴し、市政ができる限り反映させていく使命があり、地方自治体の意思決定機関として、大変大きな責任を担っています。市議会としても、コロナ禍の中、SDGsの理念を尊重しつつ、住民福祉の向上に誠心誠意努力してまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、市民の皆様にとつてご健康で幸多き年であり、ますます心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

パートナーシップ宣誓証明カード

鴻巣市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱の規定に基づき、パートナーシップの宣誓がされたことを証します。

____ 様 _____ 様

第 _____ 号

宣誓日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

鴻巣市長

鴻巣市パートナーシップ宣誓制度を開始 (12月)

このすゝねマ

文化芸術振興支援事業

合併15周年記念 このすゝねマで市民の日キャンペーン(ワンコインで映画鑑賞)を開始 (10月)



このすゝね安心宣言に基づく「新しい生活様式」への取組を開始 (5月)